



JR 磐越西線 猪苗代駅から徒歩 25分・タクシー 5分  
磐越道猪苗代磐梯高原 IC から 12分

WEB <https://hajimari-ac.com/>

10:00～18:00 火曜日休館（火曜日が祝日の場合、翌水曜日休館）

展示入れ替え期間、年末年始休館

上記は展覧会やイベントの関連により変更する場合があります。

詳細はホームページでご確認ください。



はじまりの美術館



はじまりの美術館

〒969-3122 福島県耶麻郡猪苗代町新町4873

TEL 0242-62-3454

FAX 0242-23-8185

# 表現を楽しむ、 つながりの場

日々を楽しむ気持ち、工夫する視点で、  
世界は全く違ったものになるはずです。

アートは誰もがもつ日常のなかに在り、  
毎日を豊かにしているものだと考えます。

様々な表現に出会って、ウズウズしたり。

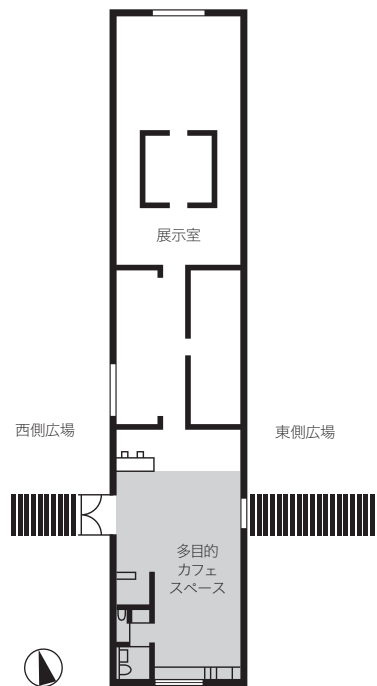
いろんな人とつながって、楽しいことをはじめたり。

はじまりの美術館はそんな場所を目指しています。

はじまりの美術館は、2014年6月築約140年の酒蔵「十八間蔵」を改修して誕生した小さな美術館です。運営母体である安積愛育園は、1967年の設立から主に知的に障がいを持つ方の支援事業を担ってきました。活動の中で私たちは、「障がい」ということに限らず、人としてこの地域で暮らし、働き、スポーツやアートを楽しみ、才能や能力を発揮すること、これらは大切な自己表現であり、自己実現につながっていくという実感が深まりました。

この経験から、私たちは「人の表現が持つ力」や「人のつながりから生まれる豊かさ」を大切に考え、「誰もが集える場所」としてはじまりの美術館を開設しました。福祉とアートが同居するこの場所が寛容で創造的な社会が開かれていくきっかけになることを目標とします。またこの美術館は、建築は無有建築工房、コミュニティデザインでは studio-L と協働し、日本財団の「New day 基金」事業の一環として整備しました。

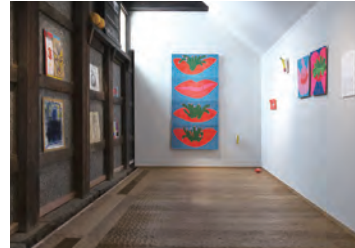
# 十八間蔵



じゅうほちけん

十八間(約33m)の長さがある太い梁は、裏磐梯から二十間で切り出されましたが、辻を曲がりきれず二間切ったという逸話が残っています。明治・大正・昭和・平成と時代の移り変わりを140年あまり見つめ、酒蔵・ダンスホール・縫製工場など、用途を変えながら猪苗代町の方に愛され続けてきました。東日本大震災で大怪我を負いつつも持ちこたえ、町の新たな起点となるべく生まれ変わりました。

# 展 示



はじまりの美術館では、アール・ブリュット\*を中心に様々な作品の展示を行っています。企画展ごとのテーマに合わせて、私たちが驚かせたり、ザワザワさせたり、心動かす作品やアーティストを紹介していきます。「人生が少しだけ豊かになる。」そんな展示を目指します。

\*日本語で「生(き)の芸術」。フランス人画家のジャン・デュビュッフが、伝統や流行、教育などに左右されず、自身の内側から湧きあがる衝動のままに表現した芸術のことを指し、提唱した概念。近年、日本では福祉関係者を中心にさまざまな議論がなされている。

# イベント



美術館をつくる段階から、猪苗代町の方と一緒に美術館のことや町のことを話し合う集まり「寄り合い」を続けています。誰かのやりたいことや、町をよくするためにできることなど語り合い、実現するための、誰でも参加できる集まりです。寄り合いのほか、様々なイベントも開催しています。多様なテーマのトークライブ、アーティストや町の方たちによるワークショップ、音楽ライブなども行われます。また、たくさんのお店やワークショップが集う「はじまるしえ」などのマルシェも開催しています。

# カ フ ェ



コーヒーを飲んだり、展示の感想を語りあったり、宿題や読書をしたり、様々な過ごし方ができるカフェです。名前は「ohaco cafe」。由来は十八間蔵にちなんで、みんなの十八番（おはこ）が集まる場所として。打合せや勉強会、コミュニティスペースとしてもぜひご活用ください。